

10
YEARS
ANNIVERSARY



2009



2019



10
YEARS
ANNIVERSARY

学生団体から、認定NPO法人に。

10年間、ありがとうございます。

ReBitは2009年に学生団体として発足してから、2019年で10年目を迎えました。

20歳の学生たちが想い一つで立ち上げた団体が、認定NPO法人になるまでの道のりは、みなさまの応援なしに実現できるものではありませんでした。

「10年後を変える」ことを合言葉としてきた私たちにとって、2019年は大きな節目でした。

「LGBTを含めた全ての子どもがりのままで大人になれる社会」を目指し、2009年に大学生だった私たちが描いた夢を思い出してみよう。

- 「ちがいで悩む子どもたちにも、「あなたは一人じゃない」と伝えたい。

その願いは、2010年当初は「うちにはそんな生徒はいない」「そんな性的な話を学校でするなんて」と、100校連続で出張授業を断られました。

しかし、今では希死念慮が最も高まる学齢期に、1100回を超える授業・研修を学校・行政に届け、4万部を超える教材の提供を行うことができました。

また、2015年には文部科学省から、LGBTの児童生徒への対応配慮を求める通達が出され、学校での必要性が可視化されたり、

2019年から中学校、2020年から小学校の一部教科書に、LGBTについての記載がされるなど、社会的にも大きな変化がありました。

- どの地域でも、ありのままで大人になってほしい。

その願いは、2012年から日本最大級のLGBTの若者のエンパワメントイベント「LGBT成人式」として17地域で57回開催されてきました。

また、地域の若者リーダーシップ育成を行う「diverseeds」プログラムを通じ15地域31人の若者リーダーを育成し、各地域の居場所作りや普及啓発に寄与してきました。

- 特性、属性に関わらず、自分らしく働けると信じてほしい。

その願いは、2013年当初は、「LGBTの社員なんていない」「LGBTからの就労相談なんてきたことがない」と人事や行政担当者に言われることばかりでした。

しかし、今では3000名を超えるLGBTのキャリア支援や、200社以上への研修や、就労支援者の育成プログラム提供、日本最大級のダイバーシティに関するキャリアフォーラムを開催できるに至りました。また、2016年、厚生労働省は『公正な採用選考の基本』へLGBTについて記載したり、2016年セクハラ指針改定、2019年パワハラ防止法施行にあたり、性的指向・性自認にかんするハラスメントの防止が記載される等、社会的にも大きな変化がありました。

また、ReBitを卒業した600名のメンバーたちが各々のフィールドで切磋琢磨していることが、私たちの歩みのなによりの宝だと思っています。

- 改めて「10年後」に向けて、夢を描こう。「すべての子ども」がりのままで大人になれる社会へ。

誰かとのちがいで悩む子どもに「あなたのままで大丈夫」と伝えられる大人を増やしたい。

誰かとちがうことは素敵なことで、そこも含めた自分が好きだと胸をはれる子どもが増えてほしい。

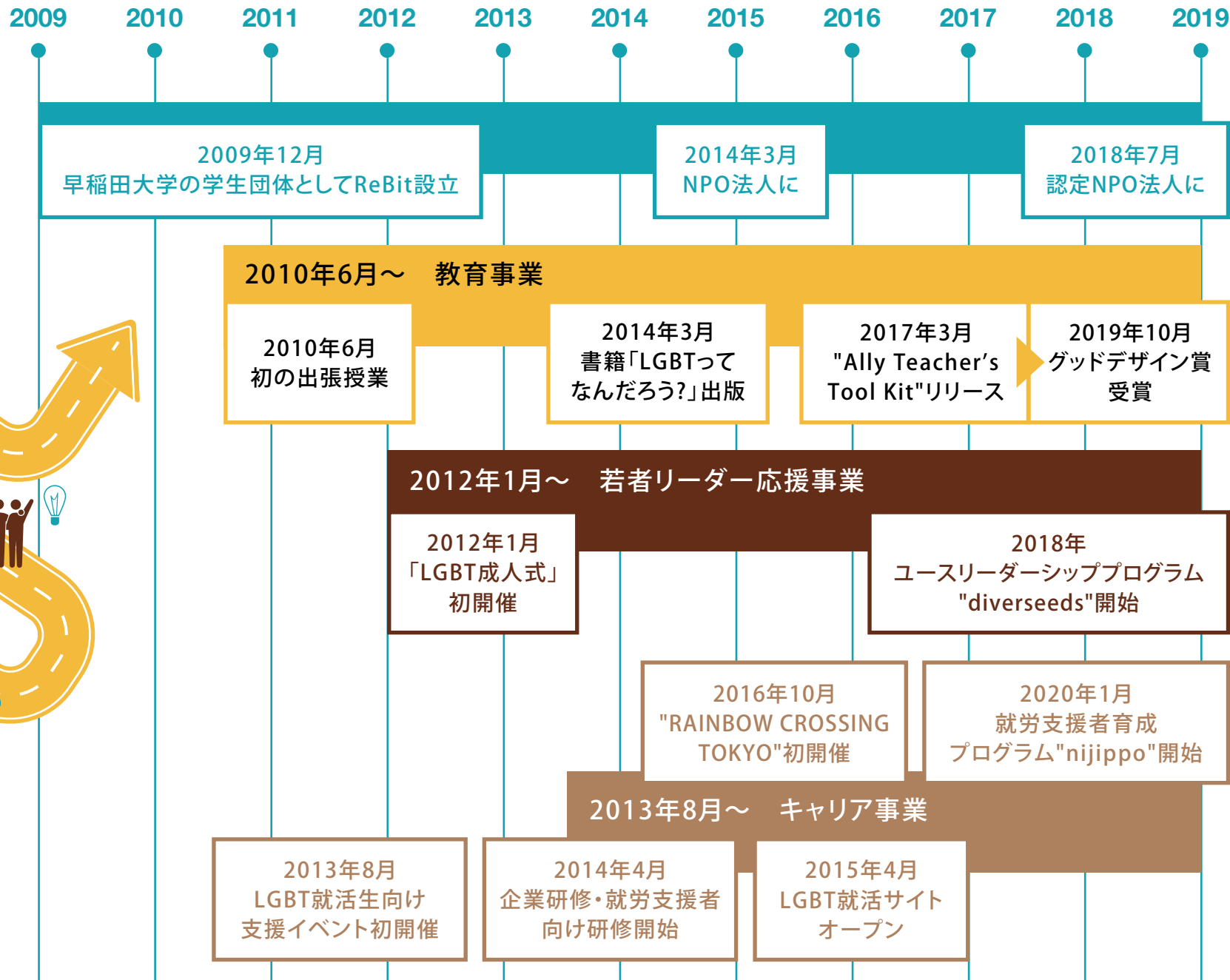
ReBitは、LGBTの子ども・若者特有の困難解消と多様性を包摂する社会風土の醸成を通じ、LGBTを含めた全ての子どもが
ありのままで大人になれる社会を、これからも、「少しずつ」(Bit)を「何度でも」(Re)繰り返し、実現します。

そしてそこに向かう素敵の旅路を、あなたを含めた「チームReBit」で歩めることを夢見ています。

認定NPO法人ReBit
代表理事

薬師実志

ReBit 10年 の旅路



VISION (目指す社会像)

LGBTを含めたすべての子どもが
ありのままで大人になれる社会

MISSION (果たす使命)

- ① LGBTの子ども・若者特有の困難解消
- ② 多様性を包摂する社会風土の醸成

● ReBitが取り組む社会課題

LGBTの子ども・若者の「生きづらさ」は、①LGBTへの理解・支援不足と、②多様性へ包摂的でない風土の二重構造。

ReBitは設立当初から、①LGBTの子ども・若者特有の困難解消に取り組んできました。

設立10年目はチャレンジを広げ、②子ども・若者の課題に取り組む団体とコレクティブに多様性へ包摂的な風土の醸成に取り組んでいます。

① LGBTの子ども・若者特有の困難解消 LGBTは約3%~10% *1

学齢期

- LGBTは学齢期に、いじめ経験や自殺念慮の割合が高い
- しかし、教員の1割、高校生の1割しかLGBTについて学んだことがなく、正しい情報と支援が不足している *2



いじめ
経験者
68% *3



自殺念慮
Trans
58% *4



LGBTIQについて
未学習の高校生
約90% *2

青年期

- 新卒就活時に性的指向や性自認(以下、SOGI)によるハラスメントを経験
- しかし、就労支援機関に相談できない
- 求職・就労における困難は、メンタルヘルス悪化や低所得にも繋がっている

就活時のSOGI/ハラ経験 *5



LGB 42% Trans 87%



就労支援機関
に未相談
96% *5

② 多様性を包摂する社会風土の醸成

95.9%

がマイノリティに対して日本社会に差別や偏見があると
感じている。*6

インクルーシブな社会風土の醸成に向け、「ちがいがい」による困難解消に取り組む主体をつなげ、バックボーン組織としてコレクティブインパクトの創出



*6: 日本財団(2019)『「ダイバーシティ&インクルージョン」に関する意識調査』

ReBit の事業

1 教育事業 (P6)

学齢期の主課題である教育現場での理解・支援を届ける

2 キャリア事業 (P8-9)

青年期の主課題であるキャリアのサポートを行う

3 若者リーダー応援事業 (P7)

各地域で取り組む若者リーダーの育成

*1: LGBTやセクシュアルマイノリティの推計には様々な国内調査がある。「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム(2019)「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」ではLGBTが2.7%、「アセクシュアル」「決めたくない・決めていない」を含めると8.2%。株式会社LGBT総合研究所(2016)「LGBTに関する意識調査」では、LGBTが5.9%、LGBTを含めたセクシュアルマイノリティが8.0%。電通ダイバーシティラボ(2018)「LGBT調査2018」では、LGBTを含む性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)が8.9%。日高麻晴・三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」(2018)「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTQが10.0%。岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会(2013)「高校生の生と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが10.1%などがある。 *2: ReBit出張授業アンケート(2014・2015) *3: いのちリクエスト。ホワイトリボン・キャンペーン 平成25年度東京都地域 自殺対策緊急強化補助事業 「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」 *4: 中塚幹也(2010)「学校保健における性同一性障害:学校と医療の連携」『日本医事新報』4521:60-64 *5: 認定特定非営利活動法人ReBit(2019)「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状調査」

Highlights of 2019

1 ReBitの取り組みが、中学教科書に。

2019年4月より、一部の中学教科書に、LGBTが記載され、うち一冊に、ReBitの取り組みが掲載されました。これからも多様な性を切り口に、多様性について学び・考える機会が届くよう、また、学校がすべての子どもにとって安心・安全な場であるよう、尽力していきます。



2 祝!グッドデザイン賞を受賞!



教材キット"Ally Teacher's Tool Kit"がグッドデザイン賞を受賞!構想から6年、みなさまのご寄付で全国の学校に無償配布し、教員が主体となり学校を安心・安全な場にするという社会モデルが「グッドデザイン」であると評価していただきました。



3 出張授業/研修を215回、約3万3500人にお届け。

今年度も全国の学校/行政/企業等で授業・研修を実施させていただきました。たくさんの方に、多様な性を切り口に多様性について知り、考えていただく機会をお届けすることで、「互いのちがいが受け入れあえる社会」に一步ずつ近づくことを願っています。

10年間の実績

授業/研修数

1131回

受講者数

13.26万人

4 LGBT研修講師育成プログラムをローンチ!

どの地域もLGBTの子どもにとっても暮らしやすい地域になってほしい。そんな思いから、自身の地域で多様な性に関する研修講師をしたい若者を研修講師として育成するプログラムをローンチ!ReBitの10年間の叡智を6ヶ月に詰め込み、研修やOJTを提供しました。

9地域 16名

が研修講師として卒業



5 日本最大級のダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に関するキャリアフォーラム初開催!

2016年度より例年開催してきた、LGBTを切り口に「誰もが自分らしく働ける社会」を共創するキャリアフォーラム"RAINBOW CROSSING TOKYO"。2019年度はテーマを①LGBT②ジェンダー③エスニシティ④障がいに広げ、日本最大級のD&Iに関するキャリアフォーラムとして実施しました。

厚生労働省、文部科学省などからご後援をいただき、産学官民でこのテーマを考えられたことに感謝申し上げます。



6 ダイバーシティ&インクルージョン体感型の企業研修提供開始!

2013年度より、LGBTを切り口にD&Iについて考える研修を提供してきましたが、2019年度は、さまざまなテーマに取り組むNPO法人らと連携し、複数のテーマをかけあわせD&I研修のご提供を開始!パネルトークやワークショップ等を通じ、受講者の皆さまにD&Iを「自分事」として体感いただく研修となっています。

連携したテーマ:ジェンダー、エスニシティ、障がい、がん、介護



7 東京都・神奈川県との協働事業が、5年満期終了

■神奈川県

2015年度から開始した神奈川県との協働事業が満期終了を迎えました。のべ4210人に事業提供をできたこと、また、協働の中で実現した日本初となる行政によるLGBT向けの個別キャリア相談が、2020年度も県事業として継続することは大きな成果だと考えています。

■東京都

都が作成する、都民向け・職員向けの多様な性についての啓発冊子2種を監修させて頂きました。



8 事務局長・事業本部長を迎え、新・経営体制に。

設立10年の節目に、事務局長に渡邊あき、事業本部長に中島潤を迎え、代表理事の薬師実芳とあわせて新・経営体制に。これからの10年に向け、一層成長をしていく所存です。

教育事業

学校を、すべての子どもにとって安心・安全な場に。

多様な性を切り口に多様性への理解を深めていただくため、全国の学校・行政で子ども・教職員・行政職員等を対象に、出張授業・研修をおこなっています。子どもたちへのお出張授業は、「"ふつつ"ってなんだろう?」「自分らしさってなんだろう?」「ちがいを尊重するためにできることってなんだろう?」といったことを今一度見つめる構成になっています。教員・行政職員への研修は、誰もがしやすい学校づくり・まちづくりのために、「自分にできることはなんだろうか?」という意識をもっていただき、「今日からできることをやってみよう」という行動につなげる内容になっています。

10年間のソーシャルインパクト

860回 11.3万人



学校／行政へ授業／研修を
提供した回数・人数

3.1万部 3.7万回



教材の発行部数、
再生回数

10年後にめざす姿

- セクシュアリティの「ちがい」のみならず、様々な「ちがい」をもつすべての子どもがありのまま大人になれる社会をつくれます。

2019年度の成果

① 15都道府県で138回、約2万7千人へ出張授業・研修を提供

ReBitは全国どこへでもうかがいます。2019年度は、北は青森県、南は福岡県までと幅広い地域へ、また、小学生～大学生、教員・保護者・行政職員と幅広い対象のみなさまへ授業・研修を届けることができました。



② Ally Teacher's Tool Kitがグッドデザイン賞を受賞!



教員がLGBTへの理解がある(=アライの)先生になり、多様な性について授業をすることをサポートする教材キット「Ally Teacher's Tool Kit」がグッドデザイン賞を受賞!構想から6年、みなさまのご



寄付で全国の学校に教材を無償配布し、教員が主体となり学校を安心・安全な場にするという社会モデルが「グッドデザイン」であると評価していただきました。

*教材はこちらから無料でダウンロードできます
<https://rebitlgbt.org/project/kyozai>

若者リーダー応援事業

課題解決の推進力となる全国のリーダーを応援する

全国どの地域も、ちがいを持つ子どもがりのままで大人になれる社会であってほしい。そのためには、各地域で課題解決のための推進力となり、次世代をエンパワメントする存在が大切です。

そんな思いから、ReBitは地域を担うLGBTの若手リーダーシップ育成や、LGBTの若者のエンパワメントに取り組んでいます。

2011年度から2017年度は、日本最大級のLGBTの若者のエンパワメントイベント「LGBT成人式」を開催。2018年度からは、各地域で課題解決に取り組む若手リーダーを応援・育成するプログラム「diverseeds」を実施しています。

9年間のソーシャルインパクト

17地域 5500人



LGBT成人式でエンパワメントした人数

15地域 31人



diverseedsで育成した若手リーダー

10年後にめざす姿

- 課題解決のための推進力となり、次の世代をエンパワメントできる若手リーダーを各地で育成することで、どの地域でもちがいをもち子どもたちがりのままで大人になれる社会を作ります。

2019年度の成果

●全国9地域、17名のリーダーを輩出

2019年度は、若手リーダー育成プログラム「diverseeds」を2回実施。参加者は半年間にわたるOJT等のプログラムを通じ、自身の地域でLGBTの研修講師として活躍するためのスキルを身につけました。



キャリア事業

多様な「ちがひ」を持つすべての人が、その人らしく
キャリア実現できる社会へ

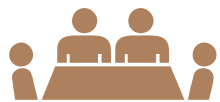
子どもたちが「ありのままで大人になれる」と信じられるためには、特性・属性にかかわらず、誰もが自分らしく働き・生きられる社会にしなくてはならない。そんな思いから、2013年よりキャリア事業をはじめました。

当初は、LGBTの学生の就活支援に主軸をおいて展開していましたが、現在は、多様な人が「その人のまま働くこと」が実現されるよう、ダイバーシティ&インクルージョンという大きなテーマのもと、以下3軸で展開しています。

1. 就活生/就労者へのキャリア支援
2. 企業への研修やコンサルテーション
3. 行政等と連携した就労支援者の育成

7年間のソーシャルインパクト

269回 2万人



企業・就労支援へ研修を
提供した回数・人数

3000人



キャリア支援を
提供した人数

1.4万部



企業・就労支援機関
向け教材発行部数

10年後にめざす姿

- 特性・属性にかかわらず、誰もが自分らしく働き、生きることができる社会をつくります。

2019年度の成果

①ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の 推進パートナーとして

<D&Iを自分事にするための研修・イベントのご提供>

D&Iを自分事としてとらえ、主体的に行動する人を増やすために、さまざまなテーマに取り組むNPO法人の皆さまと連携し、LGBTという切り口のみならず、ジェンダー、エスニシティ、障がい、がん、介護などから、複数のテーマを掛け合わせて研修やイベントをお届けしました。D&Iを「自分事」として体感いただくため、イベントも研修も、参加者や受講者の皆さまに参画いただくための工夫を重ね、実施しています。

■研修実績(敬称略)

日本電気株式会社(NEC)、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)

■受講者の声

- 人は自分とは違うと認めることから始める、互いに人として尊重するという基本は、全ての人にとって働きやすい職場につながるのだと感じました。
- どんな人にも職場で見えていない部分がある、という点は、自分もそうだと思うし、だからこそ日頃から「困ったら相談しあえる」という関係を築いていきたいと思った。



② LGBTテーマに取り組む際のパートナーとして

<LGBTテーマに取り組む際の計画から実行までを継続的に伴走>

これまで、多くの企業さまとご一緒してきたLGBT関連のお取り組み、今年度も多方面で新しいチャレンジを応援させていただくことができました。

1.LGBTについての研修実施

多様な性や、性的指向・性自認(SOGI)に関する社会情勢を含めた基礎知識、LGBTが職場で困ることや社内の取組み事例などを体系的に「知る」という軸と、LGBTの社会人のライフストーリーを通して、テーマを身近なこととして「体感する」という軸の2つを大切に、企業の皆さま・就労支援者の皆さまへ、研修をお届けしています。講義形式の研修のほか、オンラインでの動画研修や、対象やテーマにあわせた実践型研修もご提供しています。

■研修実績(一部、略称表記、敬称略)

NEC、NTT、JAL、INPEX、富士通総研、ちよだ鮎、トヨタ自動車労働組合、UAゼンセン、東京都労働局、東京しごと財団、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構、全国私立大学就職指導研究会

■実践型研修の一例

- ・人事担当者の皆さまへ:LGBTの従業員から相談を受けた場合のロールプレイ研修
- ・接客サービス現場の皆さまへ:お客様対応に関する具体的な工夫を考えていただくためのグループワーク研修

■受講者の声

- ・個人個人が知識として知ることと、当事者の方の生の声を聞くことが必要だと思う。全員に受けてほしい研修だと思った。

2.コンサルテーション・アドバイジング・監修

職場で取り組みを進めるにあたり、制度づくりやガイドラインの策定、対応にあたってのハンドブックの作成等、これまでの好事例から得られた知見をいかし、コンサルテーションやアドバイジング、監修を行ってきました。施策がLGBTの従業員の目線に立ったものとなり、より効果的な取り組みになるようサポートしています。

③ RAINBOW CROSSING TOKYO

<D&Iをテーマとした国内最大級のキャリアカンファレンス>

2016年よりLGBTをテーマに「自分らしく働く」を考えるキャリアカンファレンスとして開催してきたRAINBOW CROSSING TOKYO。第4回となる2019年は、LGBT、ジェンダー、障がい、エスニシティにテーマを広げて開催しました。特性・属性に関わらず「誰もが自分らしく働く」について考え、自分らしいキャリア形成や企業のD&I推進について考えるカンファレンスとなりました。1000名がご来場、3500名がオンライン参加をいただき、大盛況の中で開催することができました。



■出展企業(一部、敬称略)

株式会社丸井グループ、ソニー株式会社、LGBTファイナンス、アクセンチュア株式会社、株式会社資生堂、グーグル合同会社、NTTグループ、NEC(日本電気株式会社)、野村ホールディングス株式会社、ユニリーバ・ジャパン、武田薬品工業株式会社、ウォルマート・ジャパン/西友、KPMG ジャパン、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)、日本航空株式会社、BLOOMBERG L.P.、日本アイ・ビー・エム株式会社

■後援(一部、敬称略)

厚生労働省、文部科学省、東京都、渋谷区、日本経済団体連合会、日本労働組合総連合会(連合)、全国中小企業団体中央会、日本私立大学連盟、国立大学協会

ReBitが携わる書籍・教材

子ども向け

書籍

「ふつう」ってなんだ?:
LGBTについて知る本

薬師実芳ほか (2018)
学研プラス◎



書籍

いろいろな性、
いろいろな生き方

渡辺大輔 (2016)
ポプラ社◎



教職員・ 保護者向け

書籍

改訂新版 LGBTってなんだろう?:
自認する性・からだの性・
好きになる性・表現する性

薬師実芳ほか (2019)
合同出版◎



書籍

教育とLGBTIをつなぐ
:学校・大学の現場から
考える

三成美保ほか (2017)
青弓社◎



書籍

LGBT問題と教育現場:
いま、わたしたちにできること
(早稲田大学教育ブックレット)

学文社
(2015)◎



教材キット

中学校版
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2017) ○



教材キット

小学校高学年版
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2018) ○



冊子

男・女だけじゃない!:先生が
LGBTの子どもと向き合うた
めのハンドブック

ReBit (2014) ○



DVD

先生にできること:
LGBTの教え子たちと
向き合うために

ReBit (2012) ○



調査報告

多様な性に関する授業
がもたらす教育効果の
調査報告

ReBit (2018) ●



◎…全国の書店でご購入いただけます
○…storesにてご購入いただけます
<https://rebitlgbsupporters.stores.jp>
●…ホームページよりご注文ください
<https://rebitlgbt.org>

人事・就労 支援者向け

書籍

法律家が教えるLGBT
フレンドリーな職場づくり
ガイド

LGBTとアライのための法律家
ネットワークほか(2019)法研◎



書籍

トランスジェンダーと職場環境
ハンドブック:だれもが働き
やすい職場づくり

東優子ほか(2018)
日本能率協会マネジメントセンター◎



書籍

LGBTIの雇用と労働:
当事者の困難と
その解決方法を考える

三成美保ほか(2019)
晃洋書房◎



冊子

LGBT就労支援
ガイドブック

ReBit(2015)●



冊子

LGBTと職場について考えるハンド
ブック:すべての人が豊かに働く職
場づくりを目指して

ReBit(2015)●



DVD

LGBTと職場:すべての
人が豊かに働く
職場づくりを目指して

ReBit(2017)●



ReBitが取り組むSDGs



1. 貧困をなくそう

LGBTは学校や求職/就労の困難から貧困に繋がりがやすいです。学齢期とキャリア初期のサポートを通じ、課題に取り組んでいます。



3. すべての人に健康と福祉を

LGBTの希死念慮は高く、特に二次性徴期が希死念慮の第一ピークです。学齢期の正しい情報と適切な支援を通じ、課題に取り組んでいます。



4. 質の高い教育をみんなに

多様な性に関して学校で習ったことがある中学生は僅か11.8%。多様な性と多様性について学び考える機会を学校教育と社会教育で提供しています。



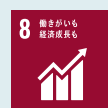
5. ジェンダー平等を実現しよう

LGBTの平等は、ジェンダー平等なしには実現しません。他団体と協働し、ダイバーシティに関する企業研修やキャリアイベントを開催しています。



6. 安全な水とトイレを世界中に

特にトランスジェンダーは公共トイレが使えないという課題を、学校・企業・行政等へのアドバイジングを通じ取り組んでいます。



8. 働きがいも経済成長も

LGBTをはじめ、マイノリティ性をもつ若者のキャリア支援や、企業/就労支援者へLGBTやダイバーシティに関する啓発を通じ、誰もがその人らしいキャリアの実現に取り組んでいます。



10. 人や国の不平等をなくそう

性的指向・性自認に関する不平等をなくすため、行政・企業・学校・NPO等さまざまなステークホルダーと連携し取り組んでいます。



11. 住み続けられるまちづくりを

全国15地域31名でLGBTの課題に取り組む若者リーダーの育成。地域リーダーの育成を通じ、LGBTも自分らしく大人になれる地域を増やす取り組みをしています。



16. 平和と公正をすべての人に

行政の条例づくりにおけるヒアリング、検討委員等を通じ、性的指向や性自認により差別されない社会づくりに取り組んでいます。



17. パートナリシップで実現

LGBTの子ども・若者の「生きづらさ」は、多様性へ包摂的でない風土が変わることで解消されると考えます。そのため、子ども・若者の課題に取り組む団体と課題に取り組んでいます。

インタビュー



diverseeds
卒業生

高嶺 真帆 さん

大学生

diverseeds第3期修了生

Q. ReBitとのつながりは?

私は、幼少期をオーストラリアやニュージーランドで過ごしました。両国とも多文化共生社会のため、多様性を尊重し合える環境にいました。しかし、日本に戻ってきた時は、出る杭は打たれるような経験をたくさんしました。そこで、私が住んでいる沖縄県にも多様な性の授業を届けられたらと思い、diverseeds第3期に応募しました。

Q. diverseedsに参加してみて

授業の度にフィードバックを貰い、実践的に学ぶことができました。そこで出会った学校の先生、生徒の皆さんと意見交換できたことも、とても有意義な学びとなりました。また、全国各地から集まった同期の仲間に出会い、共に成長することができたのは、本当に良い経験になりました。diverseedsを通して得た学びは今後、自分の夢や目標を達成する上で非常に重要なものになったと思います。

Q. ReBitの魅力とは?

ReBitの「すべての子どもがありのまま大人になれる社会」というビジョンが非常に素敵だと思います。LGBTだけではない、多様な性についての授業で、「違い」や「個性」、「多様性」について話すことで、一人ひとりが当事者意識を持って、話を聞いてくれたり考えたりしてくれているように感じます。

Q. これからのReBitに期待すること

一人でも多くの子どもたちがありのまま大人になれるように、地方にもReBitの授業を届けられるシステムができると嬉しいです。また、特に私が住んでいる沖縄県は多様性に富んでいて、色々なバックグラウンドを持つ子ども達がいることから、多様な性だけでなく、多様性についてももっと深く切り込める授業ができたら良いなと思っています。



学校の先生

本間 江理子 さん

静岡市立中学校
養護教諭

Q. ReBitとのつながりは?

東京での教職員研修で講師をしていたのがReBitの葉師さんでした。その際、各学校で子どもたちへの出張授業もしているとの紹介があり、ぜひ本校でも実施したいと準備にとりかかりました。講師料や交通費の心配もあったのですが、ある助成金に応募したところ審査を通過することができたので、本校での授業が実現しました。

Q. 中学校で多様な性についての教育をする意義、実際に授業をしてみて

実際に悩みを抱えている生徒は、小学校の高学年くらいから自分の性に違和感を感じて生活してきた、人との違いに悩んできたという声を聴きます。他者と自分を比べ、自分を卑下する傾向にある思春期にこそ性教育の一端として義務づけるべきであると実感します。大人以上に子どもたちの方がはるかに柔軟に受け止めます。

Q. ReBitの魅力とは?

当事者が主軸になり、学校での授業やイベントが展開される。だからこそ共感の意識が渦巻き、柔らかい言葉が行き交うのだなと思いました。実在する当事者を目の当たりにし、生の声を聴くことは、教科書にある文字を読むよりはるかに子どもたちの中に残ります。強みであり魅力ですね。

Q. これからのReBitに期待すること

もっともっと地方に支局をもって活動してほしいですね。また、各都道府県には地味でも性教育に関心をもって活動しているグループがあります。そうしたところとつながって、ReBitの活動を広げてもらえたらいいなと思います。



企業の
ダイバーシティ担当

吉宗 歩 さん

NTT東日本 ダイバーシティ推進室 室長。入社以来、個人・法人のお客様への営業、116等コールセンタマネジメント、社内システム開発・運用等、多分野の業務に従事。現在は、全ての社員が働き甲斐をもって活躍できる社内風土の醸成を担当。

Q. ReBitとの「つながり」について

2016年のLGBT就活イベント以降、施策相談から、人事・採用担当者向け研修の実現、個別案件相談から、管理者向け対応ハンドブックの作成、ハンドブックの活用促進としてロールプレイ研修と、東京～北海道までそれぞれの地域の取組みに合わせた柔軟なカリキュラムで研修をしていただいています。

Q. ReBitの「らしさ」とは?

薬師さん始め、お会いする皆さんが、私達の様々な問いかけにも寄り添ってくださる「姿勢」と、どんな機会も学びとして、その先の未来を見ている「視線」と「熱意」を素敵だと思います。又、研修では、互いの立場を超えて、議論しながら作り上げてくださるので、毎回新鮮ですし、施策と一緒に進めているという協業意識を強く持たせてくれるのが魅力と思っています。

Q. 社内のダイバーシティ&インクルージョン推進について

これまでの「常識」や既成概念にとらわれない社員の意識改革は続けていく必要がありますので、今回、北海道で行った「LGBT×介護」の研修のように、性別以外の様々な側面の要素を組み合わせ、特別な事ではなく誰の中にもあると気づかせる機会を作って行きたいと考えています。又、多様性を受け入れるだけでなく、社員が自分らしさを存分に発揮できるように、マネジメント層の強化もしていきたいと考えています。

Q. 今後のReBitに期待すること/応援メッセージ

いつも弊社のセーフティネットとして、様々なアドバイスをありがとうございます。貴団体の持つ人、企業、団体などと交流できるような場を作る強みを活かして、今後もこれまでにないような、「違い」が強みになる!と実感できる、さすがReBitさんだ!と言われるような機会の創出を期待しています。そして、まだまだ甘い!と企業への叱咤激励もお願いします。



マンスリー
サポーター

千田 晴久 さん

悩める子ども達を見てきた
教員。公立中学校校長を務める。

Q. マンスリーサポーター「にじいろバトン」の仲間になろうと思った、きっかけ。

「多様性」は勤務校の学校運営の根幹です。悩める子どもたちに少しでも役に立ちたいと思っています。みんなが安心して楽しく過ごせる社会になってほしいと心の底から願っています。このように思うのは自身のこれまでの行動に大いに贖罪すべき点があるからです。ですので「多様性」を前面に押し出して学校運営を行ってきました。

Q. 「にじいろバトン」の仲間になっていただき、いかがですか?

団体の活動にも、ビジョンの実現に向けても、ともに取り組んでいることを実感しています。あらゆる機会を捉えて広めていきたいと思っています。特に「人はグラデーション」であり「違って当然」という感覚を多くの人に知ってもらいたいなと思います。

Q. ReBitの魅力は?

同じ思いの人たちが集い、同じ目的を持って活動している素敵な団体だなと思います。娘からいろいろ話を聞きますが、みなさんが仲が良く、支え合って活動しているところがすばらしいと思っています。

Q. 今後のReBitに期待すること

活動の輪がこれからも広がっていくことを期待します。様々な壁もあるとは思いますが、応援する人たちも必ずいます。私も微力ではありますが、応援の輪が少しずつ広まっていくようきっちりと応援していきます。学校関係にもっと広まると嬉しいですね。



◀ ゆずま

ReBit卒業生

ReBitの想いを関わる人が一体になって取り組む姿勢。



◀ 千田 絵美子

ReBit職員
(教育事業部)

互いの気持ちに寄り添える人がたくさんいるところ。



▶ 山下 昂

教育系企業勤務/
ReBit卒業生

「社会を変えたい」との想いで集う仲間がいるところ。

▶ 山田 久二裕

広告会社勤務/ ReBit理事

若い力で、ワクワクする未来を創ろうとしているところ。日常生活で忘れてしまいがちな「大切なこと」を思い出させてくれます。



▶ かげ

大学生/ファンドレイジング
チームメンバー

想いを実現させる為に、みんなで頑張っているところ。



◀ 三戸 花菜子

ReBit卒業生

人がいいところ。課題解決に誠実なところ。



◀ 牛山 竜太郎

ReBitアドバイザー

「ひとりでも多くの方が、ありのままでいられる、生きていて良かったと思える世の中を作る。」という想い。



▶ 古堂 達也

ReBit卒業生

同じ未来を目指す仲間と出会えるところ。



▶ ささはら ちなみ

ReBit卒業生

理想の社会をわくわくしながら本気で実現していくところ。

▶ ゆいこ

ReBit教育事業部スタッフ

お互いのもつ「色」を大切に集まっているところ。



◀ 猿渡 由実子

NPO法人ETIC.
コーディネーター
/ReBit理事

どのスタッフも思いが真
っ直ぐなところ!



◀ 中島 満香

ソーシャルベンチャー・
パートナーズ東京
パートナー/ReBit理事

いつも前向きで、成長意
欲にあふれるところ。



◀ 岡部 正寛

株式会社Orb 代表取締役
CEO、Gigi株式会社取締役
/ReBitアドバイザー

ひとりひとりが自分ごとと
して、必死に社会課題に
立ち向かっているところ。



下坂 朋▶

ReBit卒業生

社会を本気で変えようと
しているところ。



下平 武▶

ReBit卒業生

思いを実現する今の生
き方のベースにあるのは
ReBitでの経験です!



◀ れいれい

diverseeds第3期修了生

様々な『ちがい』をお互い
が認める合えることがで
きるところ。



◀ 湯本 洋美

PhD candidate at University
of Birmingham/ReBit理事

「社会を変えたいという
純粋な想い」と、それを実
現するための「冷静なロ
ジック」を持ちあわせた最
強の仲間たち。



◀ てつ

ReBit卒業生

ありのままの自分だから
こそ周りをエンパワーメ
ントできるところ。



としや▶

diverseeds第3期修了生

みんなのありのままを、
みんなで大切にしてい
るところ。



山本 朋果▶

ReBit卒業生

一緒にいて楽しいメン
バーがいるところ!



2020年度のチャレンジ

教育事業部

2019年度から中学校教科書の一部、2020年度から小学校教科書の一部に多様な性について掲載されるようになり、教育現場での取り組みの必要性はさらに高まっています。

①先生のための、LGBT情報センターを創る

発達段階に応じて適切に教えられる先生、学級経営での意識を持ちLGBTの子どもにとっても学校を安心・安全な場にしてくれる先生(=アライ先生)の必要性がより高まっています。ReBitは、アライ先生が「学び・つながり・行動する」ことを後押しする、多様な性に関する情報センターを創ります。

②全国でLGBT講師を育成し、全国のクラスに届ける体制構築

全国でのLGBT授業/研修ニーズが高まる今、全国的に講師が不足しています。ReBitが10年積み重ねた講師育成のスキームをオンライン化し、全国での講師育成に取り組みます。また、育成した講師をつなぐことで、届いてほしいと願う学校/行政等に授業/研修を届けられる体制を整えます。



キャリア事業部

「LGBTも自分らしく働く」ためには、「職場のD&I推進」と「就労支援」でのセーフティーネット構築が重要です。

①テーマを横断し、コレクティブに企業のD&Iを推進する

2019年度は、ジェンダー・障がい・エスニシティ・がん・介護等多岐のテーマに取り組むNPOらと協働したD&I研修や、国内最大級のD&Iに関するキャリアフォーラムを開催。2020年度は、ウェブメディア「diversity works」の立ち上げやオンラインでのキャリアフォーラムの開催等、さらにコレクティブに取り組みを推進します。

②就労支援者のLGBT支援力育成プログラム「nijippo」をスタート

LGBの42%、Tの87%が就活時にSOGIハラを経験していますが、96%が就労支援機関に相談できていません^(*)。その背景には就労支援者のLGBTに関する知識の不足が挙げられます。この状況を変えるため、就労支援者に向けたLGBT支援力育成プログラムを開始します。

*1: 認定特定非営利活動法人ReBit (2019)「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状調査」



2019年度の御礼とご報告

みなさまのおかげで、10年目の節目を迎えられました。



代表理事
薬師 実芳
Mika Yakushi

2019年度はReBitにとって大きな節目の1年でした。20歳で学生団体として立ち上げた団体が、認定NPO法人となり設立10年目を迎え、法人化からも7期目が終わりました。

ReBitは、創業から取り組んできた学齢期とキャリア初期におけるLGBT特有の困難の解消に引き続き勤めながら、その根底に潜む多様性へ包摂的でない風土の解消にも取り組みます。あの時の自分のように、「みんなとちがう自分は、大人になれないんじゃないか」と毎晩布団の中で声を押し殺し泣く子どもたちに、「ありのまま大人になれる」伝えたい。ちがいでもう子どもを死なせない。LGBTを含めた全ての子どもがありのまま大人になれる社会をつくるために、これからもどうぞお力をお貸しください。

次の10年に向けて、さらに「協働と連携の輪」を広げます



事業本部長
中島 潤
Jun Nakajima

「チームReBit」の強みは、なんと言ってもそこに集う「人」にあると思います。フルタイムの職員から、プログラム修了生やプロボノの皆さんなど、多様な人がそれぞれの力を発揮することで、日々の事業が可能となっています。今のReBitを支えているメンバーにあらためて感謝すると同時に、今後は、団体外の皆さまとも枠組みやテーマを超えて連携し、あらゆる「ちがい」が尊重される社会の実現に向けて加速していく所存です。各地でダイバーシティ&インクルージョンを自分ごととして考える人を増やすことが、全ての子どもが「自分らしく大人になること」を描ける社会に繋がると信じています。共感してくださる皆さま、ぜひ私たちの仲間になってください!

ミッションに向けた持続可能な組織の基盤をつくる



事務局長
渡邊 あき
Aki Watanabe

2019年度は、さらに透明かつ適正な会計・法務体制の構築を重視し、コンプライアンスとガバナンスの強化を推進して参りました。また、職員の想いと団体のミッションを重ね、事業計画・予算編成をマネージャーが主体的に担う体制にシフトしました。

2020年度は改めて中長期計画を見直すなかで、ミッションへの道筋をチームで形成しながら、「すべての子どもがありのまま大人になれる社会」に向け必要な一手を打ち続けられる持続可能な組織の基盤を構築していきます。私たちの想いにご賛同いただける1人でも多くの方に「チームReBit」の一員となっていただけましたら幸いです。

応援メッセージ



金井 景子 さん

早稲田大学
教育学部教授

ReBitがオギャアとこの世に生を享けた時に、そばにいました。その後、滑ったり転んだりしながら、育っていく時にも、ハラハラしながら回りをウロウロしています。ここで育つ人、ここから巣立つ人も観て来ました。これまでも、これからも、自分に出来ることをして、関わって行こうと思います。ReBitをこれからもよろしくお願ひします。



レイモンド・
ウォング さん

ウェルス・ファースト
証券株式会社
代表取締役社長

It has been 6yrs since I had known ReBit, Mika Yakushi and the Team. Their relentless, organized, inclusive yet sincere effort, to aspire for society where LGBT/all children can be themselves as they become adult, is inspiring and very rewarding. Rainbow Crossing Tokyo, Diverseeds, and their involvement in Pride House Japan is taking their prominence and influence to the next level, while keeping down to earth visit to schools and providing 'Ally Tool Kit'. While sincerely wishing for their scalable success, I also hope that there will be many more who will be touched and will support ReBit to be part of the journey for the better society.



田口 周平 さん

ジョンソン・エンド・
ジョンソン
Open&Out アジア・
パシフィック地域代表

「僕が小さいころ、こんな授業があったら良かったなあ」「学生の時に、こんな仕事の探し方があったら、もっと違う世界が開けていたのだろうか」

いつも、そんな思いでReBitの活動を見えています。そして、ReBitの活動を目にする度に、誰も取り残されない未来へ一歩一歩近づいているのを実感します。

ReBitの活動の向こうに、子どもたちが自分らしく成長できる未来があります。

『LGBT問題の今を変える、10年後を創る』
ReBitを心から応援しています。



東 由紀 さん

Allies Connect
代表

私がLGBTアライとして活動を始めたのは10年前。まだLGBTという言葉が知られておらず、何をしたら良いのか手探りの中で出会ったReBitが、LGBTだけでなく全ての子どもが、ありのままで大人になれる社会を目指す団体に成長したことを嬉しく思います。一人ひとりが持つあらゆる違いは、隠したり抑え込んだりするものではなく、社会や企業の力になることは実証されています。それには私たち一人ひとりが知ること、語ること、語り合うことが必要です。次の10年も共に頑張りましょう!



藤村 隆 さん

ソーシャルベンチャー・
パートナーズ東京
代表理事

SVP東京が、ReBitのみなさんとの協働を開始したのは2014年。なにより子どもたちに寄り添い、さらに、学校だけでなく、企業や世の中の空気まで変えようという、壮大なミッションをもつ団体に出会えたことは、我々にとってとても幸運なことでした。その後、ReBitはその名の通り、すこしずつ組織基盤を整え、仲間を増やしながら、社会をおおきく前進させました。これから、さらに領域を越えた社会課題解決をめざすReBit。これからも一緒に歩んでいける仲間であれたらと思っております。



今村 亮 さん

NPOカタリバ
パートナー

唐突に新しい時代が始まってしまった。これからどう生きるのか。誰もが「ありのまま」を問い直し、誰かの「ありのまま」に向き合う意志が求められています。こんな今こそReBitに教えてもらいたいことがたくさんある!

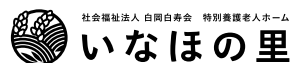
支えてくださった企業/団体のみなさま



Bloomberg



LGBT FINANCE



NTT DATA



RECRUIT リクルート住まいカンパニー



ANDERSON
MORI &
TOMOTSUNE



Panasonic NPO
サポート ファンド
子ども分野

かながわ
ボランティア
活動推進基金21

埼玉県

ReBitの活動は、皆様のご寄付に支えられています

毎月1,000円の寄付で

小学校1クラスに、出張授業を届けることができます。(1学年200人の場合)



毎月3,000円の寄付で

就活生4人にキャリアカウンセリングを提供し、自分らしく働くことを応援できます。



毎月5,000円の寄付で

教材提供を通じ、児童生徒4,300人に、LGBTについて学ぶ機会を届けることができます。



※1年間のご寄付を続けられた場合

マンスリーサポーター「にじいろバトン」の仲間になりませんか?

1日33円から、LGBTを含めた全ての子どもがありのままで大人になれる社会を実現できます。ご自身の都合にあわせて、月額の寄付金額コースをお選びいただけます。



お申し込み方法

①クレジットカード決済

<https://rebitlgbt.org/support/nijiroboton>
「にじいろバトン」で検索!

カード支払いはVISA・MASTER・JCB・AMEX・Dinersに対応しています。



②銀行振込み

https://rebitlgbt.org/support/oneoff_donate

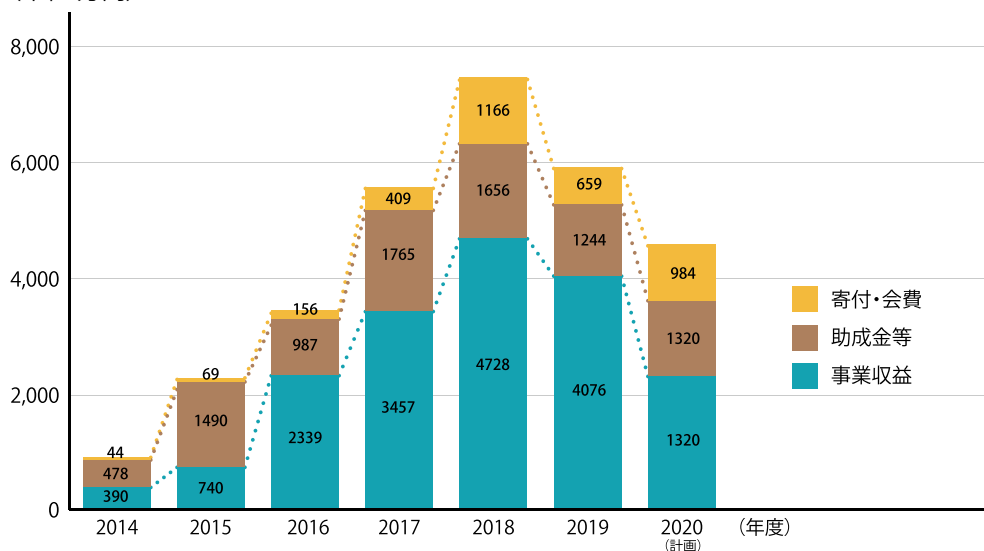
後日、お礼や領収書発行をさせていただきますので、上記リンクのフォームにご記入の上、お振込みをお願いいたします。ご寄付をしようと思った理由とともに、「にじいろバトン入会希望」と記載してください。

※ReBitは認定NPO法人です。確定申告を行うことで寄付金控除(税制優遇)の対象となり、寄付金額の最大約半額が戻ってきます。

財務諸表および計画

■ 収益推移および計画

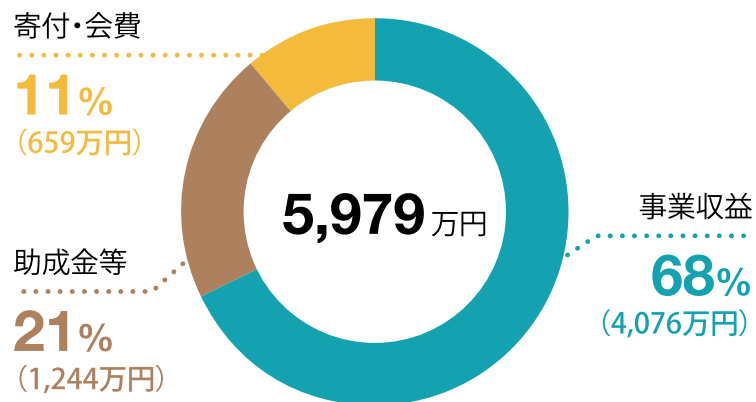
(単位:万円)



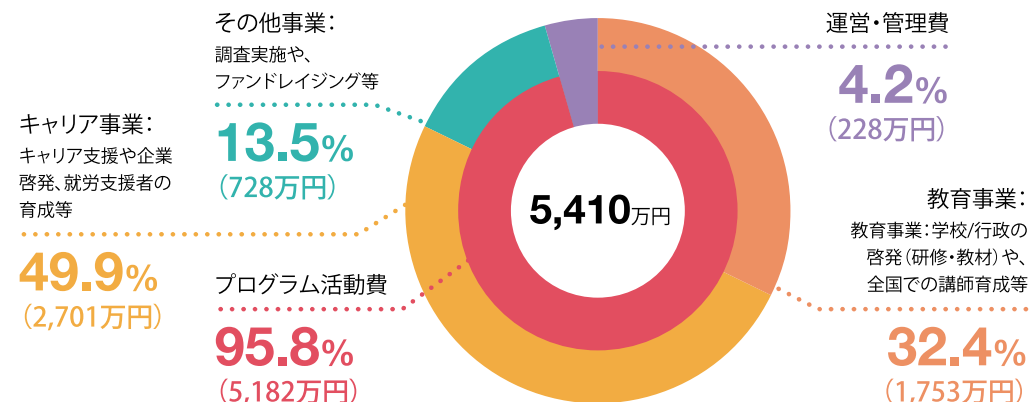
2019年度、ReBitは教育事業・若者リーダー応援事業・キャリア事業の3事業で、約4万人へ支援や啓発を届けました。経常収益は5,979万円、前年比-1,571万円(21%減)と、法人設立以来初のマイナス成長となりました。この背景には、新型コロナウイルスの拡大防止に伴い、第4四半期に予定していた研修の多くが中止になったことによる、事業収益の減少が挙げられます。経常費用は5,410万円、前年比+426万円(9%増)となりました。今期の当期経常増加額は569万円。来期以降に繰り越し、複数年の事業計画を基に事業推進に充当していきます。

2020年度は、経常収益が4,630万円、経常費用5,959万円、当期経常増加額-1,329万円と、法人化以降初めてのマイナス予算となっています。新型コロナウイルスの影響により、さらに主収益である研修がさらに減少することが想定されるためです(当初想定 of 37.5%と予測)。一方で、研修や、ダイバーシティにかんするキャリアフォーラム等、既存事業のオンライン化や、教員のためのLGBT情報センターの設立等、この時代だからこそ新たな価値を創造し提供し続けます。また、LGBTユースのためのコロナ緊急支援や調査実施をプライドハウス東京とともに、コロナ禍に困難が見過ごされがちであるLGBTユースの声を可視化し、必要な支援を届けるために尽力する一年とします。

■ 2019年度収益の内訳



■ 2019年度費用の内訳



■活動計算書

(単位:円)

科目		2018年度	2019年度	前年度比	2020年度 (予算)	前年度比	
経常収益	受取会費	113,000	110,000	-3%	110,000	0%	
	受取寄付金	11,545,647	6,476,559	-44%	9,732,000	50%	
	受取助成金等	16,558,000	12,439,500	-25%	13,199,000	6%	
	事業収益	47,286,043	40,768,959	-14%	23,264,000	-43%	
	その他収益	498	629	26%	1,000	59%	
	経常収益 計	75,503,188	59,795,647	-21%	46,306,000	-23%	
経常費用	事業費	人件費	22,620,965	26,518,108	17%	32,140,000	21%
		その他経費	24,793,349	25,301,613	2%	25,555,000	1%
		事業費 計	47,414,314	51,819,721	9%	57,695,000	11%
	管理費	人件費	1,487,895	1,588,406	7%	1,185,000	-25%
		その他経費	940,068	694,434	-26%	713,000	3%
		管理費 計	2,427,963	2,282,840	-6%	1,898,000	-17%
	経常費用 計	49,842,277	54,102,561	9%	59,593,000	10%	
当期経常増減額	25,660,911	5,693,086	-	-13,287,000	-		
経常外収益	7,654	0	-	0	-		
経常外費用	110,000	417,398	-	0	-		
当期正味財産増減額	24,474,865	5,275,688	-	-13,287,000	-		
前期繰越正味財産額	49,490,735	73,965,600	-	79,241,288	-		
次期繰越正味財産額	73,965,600	79,241,288	-	65,954,288	-		

※次期繰越正味財産額のうち、一部を職員給与安定準備のための特定資産として計上しています。

この活動計算書と貸借対照表は会計帳簿と一致し、
認定特定非営利活動法人ReBitの収支を正しく示していることを認めます。

ReBit監事
公認会計士
国見 健介



ReBit顧問税理士
准認定ファンドレイザー
中山 麻衣子



■貸借対照表(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科目		金額	
資産の部	流動資産	現金・預金	82,011,141
		売上債権	1,459,040
		棚卸資産	689,296
		その他流動資産	1,740,022
		流動資産 計	85,899,499
	固定資産	有形固定資産	168,336
		投資その他の資産	100,000
固定資産 計	268,336		
資産の部 合計		86,167,835	
負債の部	流動負債	未払金	2,880,600
		前受金	2,972,500
		預り金	78,647
		未払消費税等	994,800
		流動負債 計	6,926,547
	負債の部 合計	6,926,547	
正味財産の部	前期繰越正味財産額	73,965,600	
	当期正味財産増減額	5,275,688	
	正味財産の部 合計	79,241,288	
負債及び正味財産の部 合計		86,167,835	



認定NPO法人ReBit (りびっと)

〒162-0052

東京都新宿区戸山1-1-5エールプラザ戸山台301号室

取引銀行:

三井住友銀行 武蔵境支店 普通預金 0596883

理事(2020年度): 薬師 実芳(代表理事)/湯本 洋美/猿渡 由実子/中島 満香/山田 久二裕 監事: 国見 健介

スタッフ: 渡邊 あき/中島 潤/越智 えり子/小川 奈津己/井澤 明穂/進藤 夏葉/千田 絵美子/山下 昂/松永 有加

デザイン: 赤坂 歩美

 info@rebitlgbt.org

 <https://rebitlgbt.org>

 @Re__Bit

 <https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT>